

茶病虫害防除情報

【第 11 号】

令和 6 年 6 月 20 日

最近多くなっている

鹿児島県経済連肥料農薬課

三番茶不摘採園の三番茶芽（再生芽）防除対策

鹿児島の梅雨入りは平年より 9 日遅く 6 月 8 日に発表され、愈々梅雨最盛期になり大雨や降雨が続く状況になりました。今年の茶市況も一・二番茶とも厳しい状況になりました。二番茶の摘採は終盤になりましたが、今年も三番茶の一般摘採を止める園が多くみられようです。三番茶不摘採園は、梅雨末期の高温・多雨・多湿の気象条件下で茶芽は生育し、期間が長く、放置されるため病虫害発生が多くなります。また二番茶後に深・浅刈り更新を行う場合、再生芽の生育時の病虫害の発生相にも影響が考えられます。このため来年産茶への影響が大きくなるのが懸念されますので、その防除対策についてお知らせします。

☆ 三番茶不摘採園の管理と病虫害防除対策

三番茶を不摘採の場合、生育の遅い園は、三番茶芽を 8 月最終摘採期頃まで生育させ、その後整枝や、軽く徒長枝整枝で、秋芽と一体で来年茶の親葉にする方法と、最近多い二番茶後に深・浅刈りし、再生芽を 8 月上旬頃に整枝する方法など様々な管理法があるようです。いずれも三番茶芽の生育期間は長くなり、病虫害発生も多くなるものがあり、親葉の充実への影響も懸念され、防除対策は通常管理とやや異なることがあります。薬剤防除で留意することは、三番茶芽や再生芽を通常程度の高さで整枝する場合は摘採と同様に薬剤の使用回数はリセットされます。しかし徒長枝等のみの軽い整枝ではリセットされません。このため三番茶期から秋整枝までが連続して、一収穫期となり、薬剤選択には注意が必要になります。

☆ 発生する病虫害と防除対策

炭疽病・・・三番茶不摘採園では茶芽生育期が梅雨期になり、生育期間が長いいため発生が多くなります。一方、深刈り、浅刈りなどの更新園は伝染源病葉が少なくなるため発生は少なくなります。不摘採園は 2 回程度の防除が、浅・深刈り更新園は生育後半(1 回)の防除が必要です。

輪斑病、新梢枯死症・・・新梢枯死症は秋芽より不摘採の三番茶芽への発生が多くなります。炭疽病と同時防除します。また、輪斑病は三番茶芽または更新園再生芽の整枝時に感染しますので、整枝直後の防除が必要です。輪斑病菌は更新しても枝条、残葉に残り伝染源になります。

チャノミドリヒメコバイ **チャノキアザミマ**・・・茶芽の生育期間が長く、加害が長くなり、更新園は芽が少ないため集中加害を受け、被害が大きくなることもあり、2 回程度の防除が必要です。

ハマキムシ類 **チャノホガ** **シャクリムシ**・・・茶芽生育期間が長く、害虫の発生期と合うと被害がみられます。いずれも若齢幼虫期、葉潜期など適期防除します。

クシロカイガラムシ **チャトゲコジラミ**・・・第 2 世代幼虫の発生時期で、クシロカイガラムシはふ化最盛期頃に、チャトゲコジラミは若齢幼虫期に防除します。クシロカイガラムシの発生は少なく、防除の必要な園は少ないですが、チャトゲコジラミの発生は広く分布しており、発生が多い園は防除が必要です。

三番茶不摘採園の三番茶芽（再生芽）生育期害虫防除対策 ※太字剤は栽培暦三番茶期採用

病虫害	防除時期	防除薬剤	希釈倍数(倍)	使用基準
炭疽病	三番茶不摘採園 三番茶芽 1葉期頃	ダコニール 1000 (曾有)	700~1000	10日前1回
		クプロシールト (南北)	500~700	前日 ー
		ムッシュホルト DF (日種)	500~1000	7日前 ー
		フロンサイト SC	2000	14日前1回
	三番茶不摘採園 2-3葉期	インダーフロアブル	5000~8000	7日前2回
		オンリーワンフロアブル	2000~3000	7日前2回
浅・深刈更新園 再生芽 2-3葉期	ダコニール 1000 (曾有)	700~1000	10日前1回	
	クプロシールト (南北)	500~700	前日 ー	
	ムッシュホルト (日種)	500~1000	7日前 ー	
新梢枯死症	萌芽-2葉期	ダコニール 1000	700~1000	10日前1回
		ファンタジスタ顆粒水和剤	3000	7日前1回
		ナリア WDG	2000	7日前2回
輪斑病	三番茶不摘採園 整枝直後(3日後迄)	カスミンホルト (カッパ-シ) (全)	500~1000	14日前2回
		アミスター 20 フロアブル	2000	14日前3回
	更新園・再生芽 整枝直後(3日後迄)	テプロスフロアブル	1000~2000	14日前2回
		ナリア WDG	2000	7日前2回
		ニマイバー水和剤	1000~1500	14日前1回
チャノミドリヒメヨコハ ^イ チャノキイロアサ ^{ミウマ}	萌芽期	アグリメック (南種)	1000	7日前1回
	および 2-3葉期	エクシレル SE (日曾有種)	2000	7日前1回
		テッパン液剤 (北始肝)	1000	3日前1回
		コテツフロアブル	2000	7日前2回
		スタークル顆粒水溶剤 (アルハ ^{リン})	2000	7日前2回
ハマキムシ類 チャノホリガ シャクトリムシ	若齢幼虫期 (葉潜期)	エクシレル SE (日曾有種)	2000	7日前1回
		テッパン液剤 (北始肝)	1000	3日前1回
		アグリメック (南種)	1000	7日前1回
		ファルコンフロアブル	4000~8000	7日前2回
		カスケート ^乳 剤	4000	7日前2回
クワシロカイガ ^{ラムシ}	ふ化最盛期-5日後	アプロート ^{エス} フロアブル	1000	14日前2回
	更新園 "	ハーベストオイル	100~150	5~9月 ー
チャトケ ^{コナジ} ラミ	若齢幼虫期	アプロート ^{エス} フロアブル	1000	14日前2回
		ディアナ SC	2500~5000	前日 1回
		アグリメック	1000	7日前1回



三番茶不摘採で生育後半に多発した炭疽病



三番茶芽・再生芽整枝後に発病した輪斑病



三番茶後頃に発症した輪斑病の枝枯れ症状



三番茶不摘採園で多発した新梢枯死症



再生芽に生じたチャノキアザミヤの被害



再生芽のチャノミドリヒメコハイ重被害芽



再生芽のチャノミドリヒメコハイ軽被害芽